

3 地球温暖化対策 6億9,790万円

「京都議定書」誕生の地、環境モデル都市として様々な地球温暖化対策事業に取り組んでいます。そのうちの一部を紹介します。

すまいの創エネ・省エネ応援事業

戸建住宅、共同住宅や集会所に設備を設置する個人や管理組合、自治会に対し、設置費用の一部を助成します(システムの組み合わせにより、さらに増額の場合あり)。

- ◆ 太陽光発電システム (1kW当たり2万円 最大4kWまで)
- ◆ 蓄電システム (1kWh当たり5万円 最大6kWhまで)
- ◆ 太陽熱利用システム (強制循環型 10万円、自然循環型 5万円)
- ◆ 家庭用燃料電池システム (エネファーム) (8万円)
- ◆ 家庭用エネルギー管理システム (HEMS) (2万円)

【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

「エコ学区」関連事業

環境学習会の開催や省エネ診断会の実施等、学区の状況に応じた多彩なプログラムを提供することにより、主体的なエコ活動を支援します。

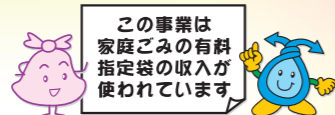


【問合せ先】地球温暖化対策室 TEL:075-222-4555

より一層、有料指定袋の収入の使い道を知っていただけるよう、これからも分かりやすい広報に努めていきます! 有料指定袋の収入を活用した事業のチラシやパンフレットには「目印のマーク」が掲載してあるよ。探してみてね。



目印のマークです



この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています



美しい地球を次世代に引き継ぐため、

これからも家庭ごみ有料指定袋の収入を有効活用していきます!



ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」

(「京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」の愛称)

<2Rの促進>

ごみになるものが少ないお買い物や環境にやさしい製品の使用など2R(ごみになるものを作らない・買わないといった「リデュース(発生抑制)」、繰り返し使う「リユース(再使用)」について取り組んでいただくことなどを定めています。

<分別・リサイクルの促進>

次の品目は分別が義務化されています。

定期収集している資源物 缶・びん・ペットボトル等

リサイクルできる紙類 新聞、ダンボール、雑がみ等

大型ごみ

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!



環境政策局ごみ減量推進課 TEL 075-213-4930

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html>

京都市 ごみ・リサイクル

検索

京都市環境政策局ごみ減量推進課発行

京都市印刷物 第284571号



ご存知ですか? 家庭ごみ 有料指定袋制のこと

平成 28年 10月

市民の皆様の御理解・御協力により、家庭からのごみの量は、平成18年度に家庭ごみ有料指定袋制を導入して以降、導入前の4分の3まで減りました。

その結果、京都市の市民1人1日当たりの御家庭からのごみ量は、429gと政令市で最も少ない量(他の政令市平均573g)となっています。* ありがとうございます。より一層のごみ減量に向け、御協力をお願いします。

有料指定袋の販売収入額は、年間約18億円にもなります(平成28年度予算)。この収入を使って、ごみ減量・リサイクルの推進など、市民の皆様に身近で環境にやさしい事業を行っています。



ごみちゃん

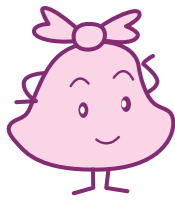


京都市
CITY OF KYOTO

*平成26年度 環境省 一般廃棄物処理事業 実態調査より

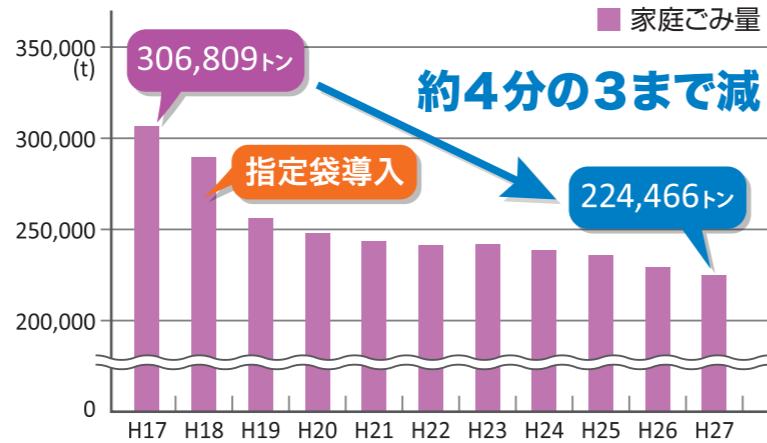
この事業は家庭ごみの有料指定袋の収入が使われています





家庭ごみ有料指定袋制は、ごみ減量・リサイクルを推進することを目的としています！

- ごみの減量により、クリーンセンター（清掃工場）は、かつての5工場から3工場にまで減らすことができました。
- また、ごみ処理にかかる費用も大幅に削減できました。



削減効果

- クリーンセンターの建替経費
約400億円×2工場分=△約800億円
- クリーンセンターの年間運営費
約10億円×2工場分=△約20億円/年
- 年間のごみ処理コスト（平成14年度→平成27年度）
△約138億円/年

ごみを減らすことで、地球温暖化の原因となる温室効果ガス（CO₂など）排出量が減少し、低炭素社会の実現にもつながります。京都市唯一の埋立処分場をできるだけ長く活用していくことにもつながります。

- しかし、ごみの処理には、年間229億円もの巨額の費用がかかります。（平成27年度総経費）

45リットルごみ袋（燃やすごみ）1袋当たりの処理経費：252円

- また、ここ数年は、ごみの減量がわずかな量にとどまっています。
- クリーンセンターをより長く使っていくためには、定期的なメンテナンスと、約20年間使用した後には、大規模な改修が必要です。
- そのときには、**市全体のごみを2工場で処理しなければなりません。**
- そのため、ごみの減量を加速させ、**現在の年間44万トンから39万トンまで削減する必要があります。**
- 資源・エネルギーの有効利用・環境負荷の低減、ごみ処理コストの最小化に向けて、より一層の減量に御協力をお願いします。**

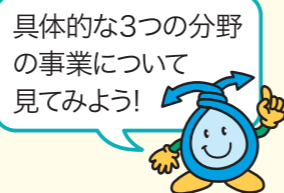
有料指定袋の収入のうち、皆様に身近で環境にやさしい事業へ活用する額は、

16億3,890万円（平成28年度予算）

販売収入額18億2,140万円 + 京都市民環境ファンド取り崩し5億3,050万円 - 有料指定袋の製造経費等7億1,300万円

これを次のページ以降の3つの分野の事業に活用しています。

また、南部クリーンセンターの建替に伴う最先端の環境学習施設の整備に2億2,700万円、中長期的な事業に役立てるための「京都市民環境ファンド※」への積立に7,000万円をあてています。 ※環境共生社会の実現に向けて創設された基金です。



1 ごみ減量・リサイクルの推進 6億2,190万円

個人やグループ単位でごみ減量・リサイクルに取り組んでいただく事業を行っています。そのうちの一部を紹介します。

雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクルの推進 ※リサイクルできる紙類は、平成27年10月から分別が義務化されました。

燃やすごみに多く含まれている「雑がみ」の分別・リサイクルの徹底を推進しています。

<雑がみとは>

新聞・ダンボール以外のリサイクルできる紙類のことです。



<出し方>

- ①地域のコミュニティ回収に出す
 - ②古紙回収業者に出す
- ▼①と②の利用が難しい場合…
- ③小型金属類・スプレー缶と同じ日時・同じ場所に出す
- ※資源物回収拠点等に持ち込むこともできます。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

資源物の拠点回収

- 資源物回収拠点：区役所・支所、まち美化事務所、上京リサイクルステーションなどの拠点で回収します。
 - 移動式拠点回収：まち美化事務所が皆様の身近な場所（公園・学校など）に出向き回収します。
- 対象品目** 古紙類、古着類、使用済てんぷら油、蛍光管、小型家電などの資源物



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

せん定枝の分別・リサイクル推進モデル事業（平成28年10月～）

家庭から出るせん定枝の分別排出の機会を拡大し、リサイクルを推進します。

対象品目 枝葉、落ち葉

収集方法 月1回、資源ごみ

収集場所に出してください。

※詳細はチラシやホームページ等で確認してください。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

地域で資源物を回収するコミュニティ回収事業

古紙類（新聞・雑がみなど）、古着類などの資源物を回収する地域の皆様の主体的な取組に対し、助成します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

使用済てんぷら油の市民回収奨励事業

市民の皆様による使用済てんぷら油の回収実施に対し、助成します。

【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

京都市ごみ半減・ここみアプリ（仮称）（平成28年12月（予定）～）

2R※行動や資源分別に役立つスマートフォンアプリの制作を行います。 ※ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」

ごみ処理・再資源化施設を見学するバスツアーを開催します。



【問合せ先】ごみ減量推進課 TEL：075-213-4930

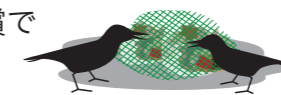
2 まちの美化の推進 2,210万円

ごみの散乱の防止や不法投棄ごみ対策に関する事業を行っています。



家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業

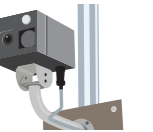
市が収集するごみ収集場所（概ね5世帯以上）ごとに、防鳥用ネットを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960

不法投棄監視カメラ等の貸出事業

常習的な不法投棄に悩む地域団体に対して、監視カメラを無償で貸し出します。



【問合せ先】まち美化推進課 TEL：075-213-4960